

4勝2敗

グループ

第2位

三月三日(金)から六日(月)まで三重県熊野市に於いて開催された、第十九回熊野オープンに参加しました。この大会は、一部リーグ八チーム、二部リーグ二チーム、大学生四チームの計十四チームが二つのグループに分かれリーグ戦を行い、最終日に両グループの同順位同士が試合を行い最終順位を決める大会です。予選グループで四勝を挙げ第二位と過去最高の成績となりました。残念ながら、最終日が雨天の為、順位決定戦は行われませんでした。開幕に向けて良い手応えを感じることができました。



2グループ各7チームのリーグ戦、全14チームで熱戦が繰り広げられました。(写真は開会式の様子)

スターティングメンバー

- 1 (DP) 山崎 奈美佳
- 2 (4) 櫻井 円香
- 3 (6) 野木 利佳子
- 4 (2) 佐藤 友麻
- 5 (3) 鹿目 真実
- 6 (9) 曾根 早織
- 7 (7) 山崎 菜々
- 8 (5) 白井 奈保美
- 9 (8) 金川 祐子
- P (FP) 藤田 真理子

3月3日(金)

富士大	0	0	0	0	0	0	0
静 甲	0	0	1	0	0	0	1
藤田・清水一・佐藤							

一日目第一試合は、富士大学との対戦。後攻の静甲は、初回二回ともに先発藤田投手が相手打線を三者凡退に抑え攻撃のリズムを作ります。迎えた三回、静甲の攻撃は、先頭の8番白井が相手のエラーで出塁。続く9番金川がきっちり送り、一死二塁と先制のチャンスを作ります。1番山崎が痛烈なライト前ヒットを放ち一死一・三塁となり、2番櫻井の初球に盗塁を仕掛け一死二・三塁。ここで、櫻井がエンドランを決め先制点を奪います。

しかし、その後は、相手投手の丁寧なピッチングに抑えられ追加点が奪えません。守っては、先発の藤田投手が、五回三安打無失点、六回から、清水投手が登板し、二回二安打無失点に抑え、熊野オープン、一勝目となりました。

スターティングメンバー

- 1 (8) 山崎 奈美佳
- 2 (7) 泉 夏帆
- 3 (6) 野木 利佳子
- 4 (2) 佐藤 友麻
- 5 (DP) 鹿目 真実
- 6 (3) 中尾 萌
- 7 (4) 麓 みさき
- 8 (5) 櫻井 円香
- 9 (9) 清水 藍子
- P (FP) 勢村 香織

3月3日(金)

豊田自動織機	0	0	1	0	0	0	1
静 甲	0	0	0	0	0	4	4
勢村一・佐藤 (三)中尾							

最終回も勢村投手が0点に抑え、この試合、一部リーグの試合を相手に9三振を奪う好投を見せ完投勝利。2勝目を上げました。

一日目第二試合は、豊田自動織機(昨年一部7位)との対戦。後攻の静甲の先発は、勢村投手。初回、自らのエラーで先頭打者を出塁させてしまいましたが、後続を抑え得点を与えませんが、三回に1点を失いますが、二回、四回、五回、六回と、三者凡退に抑え、味方の援護を待ちます。静甲打線は、チャンスを作るものの、なかなか得点を奪うことができません。1点を追い、試合は進みます。迎えた六回、静甲打線が打者8人の猛攻を見せまします。この回、先頭の1番山崎が投手強襲ヒットで出塁すると、2番泉がしつかりと送り得点圏にランナーが進みます。続く3番野木の死球、5番鹿目の四球で二死満塁となり、6番中尾に打席が回ります。1B2Sからの6球目、中尾の打球は右中間を破るタイムリースリーベースヒットとなり、試合を一気にひっくり返します。続く、7番麓もレフト前に弾き返しこの回、4点!!!

スターティングメンバー	
1 (DP)	山崎 奈美佳
2 (8)	金川 祐子
3 (6)	野木 利佳子
4 (3)	佐藤 友麻
5 (2)	中尾 萌
6 (4)	櫻井 円香
7 (9)	曾根 早織
8 (5)	白井 奈保美
9 (7)	山崎 菜々
P (FP)	渡部 恵里花

3月4日(土)

日本体育大学	0	0	0	0	0	4	4	8
静 甲	1	1	0	0	0	0	×	2

渡部・勢村一中尾

(本)野木

(二)曾根・白井

その後も相手打線の勢いを止められず、この一回、一気に四点を奪われてしまいました。最終回は、勢村投手がマウンドに上がりますが、相手打線の勢いは収まらず、この回も四失点。合計八点を失い、一敗目を喫しました。

二日目第一試合は、日本体育大学との対戦。昨年、大学選手権で準優勝している、強豪校です。後攻の静甲は、先発の渡部投手が五回まで三者凡退を3イニング含む、一安打無失点の好投を見せます。

攻撃面では、初回に二死から3番野木のソロホームランで先制点を奪います。二回も、二死から、7番曾根がツーベースヒットで出塁すると、8番白井もツーベースヒットを打ち、これがタイムリーヒットとなり2点目。しかし、その後は打線が沈黙。追加点が奪えません。

我慢の投球を続けていた渡部投手でしたが、迎えた六回、疲れが見え始めます。先頭打者に四球を与えると、一死・二塁となりこの試合、最大のピンチを迎えます。続く相手3番打者に初球をとらえられ逆転スリランホームラン。

スターティングメンバー	
1 (8)	山崎 奈美佳
2 (7)	泉 夏帆
3 (6)	野木 利佳子
4 (DP)	佐藤 友麻
5 (3)	鹿目 真実
6 (2)	中尾 萌
7 (4)	麓 みさき
8 (5)	白井 奈保美
9 (9)	清水 藍子
P (FP)	清水 琴乃

3月4日(土)

静 甲	0	0	0	0	0	0	0	0
太陽誘電	0	3	0	0	4	7	×	×

※5回コールドゲーム

清水・藤田一中尾

二日目第二試合は、太陽誘電(昨年一部2位)との対戦。日本代表選手を数名有する強豪チームです。静甲の先発は、藤田投手。初回、先頭打者にヒットを許しますが後続を断ちます。続く二回、相手の強力打線に長短打合わせて四本、三点を奪われます。四回から、マウンドには清水投手。先頭打者にヒットを許しますが、後続を抑え無失点に抑えます。

何とか反撃したい静甲打線ですが、相手投手の前に一安打と完全に抑えられてしまいます。

五回裏、相手の打線に清水投手がつかまり四失点、コールドゲームとなりました。

二日目を終えて、二勝二敗。翌日は、二試合ともに、一部リーグチームとの対戦。上位に食い込むために、負けられない戦いが続きます。

スターティングメンバー	
1 (8)	山崎 奈美佳
2 (7)	泉 夏帆
3 (6)	野木 利佳子
4 (2)	佐藤 友麻
5 (DP)	鹿目 真実
6 (3)	中尾 萌
7 (4)	麓 みさき
8 (9)	曾根 早織
9 (5)	櫻井 円香
P (FP)	勢村 香織

3月5日(日)

SGホールディングス	0	0	0	0	0	1	0	1
静 甲	4	0	0	0	0	2	×	6

勢村一佐藤

(本)佐藤

(三)野木

打った山崎も本塁に返り六点目を奪い、試合を決する。勢村投手が一点、三回も三球、最終的に三勝目を挙げた。

三日目第一試合は、SGホールディングス(昨年一部9位)との対戦。後攻の静甲、先発は勢村投手。五回まで毎回出塁は許しますが、要所を抑え得点を与えません。攻撃では、初回から打線が繋がりを見せます。1番山崎がヒットで出塁すると、2番泉がしっかり送りチャンスを作ります。ここで3番野木がタイムリースリーベースヒットを打ち、幸先よく先制点を奪います。続く4番佐藤が、センタースタックアウトのツーランホームランで3点目。5番鹿目、6番中尾も続きなます。7番麓が倒れ二死となります。8番曾根が生還。初回に一挙四点を奪います。六回、好調の勢村投手が、相手打者にホームランを浴び一点を返されますが、その裏、先頭の9番櫻井がヒットで出塁。続く1番山崎の痛烈な打球を相手のライトが弾き、一塁の櫻井が俊足を飛ばし、二塁の山崎が二塁に到達し、三塁の泉が三塁に到達し、四塁の麓が四塁に到達し、五塁の中尾が五塁に到達し、六塁の曾根が六塁に到達し、七塁の麓が七塁に到達し、八塁の曾根が八塁に到達し、九塁の麓が九塁に到達し、本塁の山崎が本塁に到達し、逆転スリランホームラン。

スターティングメンバー	
1 (9)	清水 藍子
2 (4)	麓 みさき
3 (6)	野木 利佳子
4 (2)	佐藤 友麻
5 (3)	鹿目 真実
6 (DP)	白井 奈保美
7 (7)	山崎 菜々
8 (5)	中山 夏稀
9 (8)	金川 祐子
P (FP)	藤田 真理子

3月5日(日)

静 甲	2	0	0	0	1	0	3
日 立	1	0	0	0	1	0	2

藤田・清水・渡部一佐藤

(三)鹿目

三日目第二試合は、日立(昨年一部位)との対戦。先攻の静甲は、初回、1番清水が内野安打で出塁すると、2番麓がしっかりと送り、前の試合に続き初回からチャンスを作ります。続く3番野木、4番佐藤の連続安打で、一部リーグのチームを相手にまたしても先制点を奪います。二死から6番白井が四球で出塁すると、7番山崎がレフト前に弾き返し二点目。二回にも、先頭の9番金川が内野安打で出塁。続く1番清水がセンター前ヒットを放ち無死一・二塁。2番麓の打席で重盗を仕掛け無死二・三塁とし追加点のチャンスを広げます。しかし、ここは相手の守備陣に抑えられ追加点を奪えません。守っては、この試合の先発は藤田投手。味方のエラーも絡み、初回に一点を返されますが、逆転は許しません。

その後もヒットは許しますが、要所を抑え3イニングを一失点、四回から清水投手にマウンドを託します。清水投手も、出塁こそ許しますが、粘り強いピッチングで四回、五回を無失点に抑えます。何とか追加点を奪いたい静甲は、六回、この回先頭の5番鹿目が、目の覚めるような痛烈な打球で右中間をやぶるスリーベースヒットを放ちます。無死三塁となり、絶好の追加点のチャンス！ここで打席を迎えるのは、6番白井。エンドランを確実に決め、大きな追加点を奪います。六回からマウンドに上がったのは、渡部投手。先頭打者にホームランを打たれてしまいましたが、その後は落ち着いて抑え2イニングを一失点。熊野オープン四勝目を上げました。

この結果、Bグループを7チーム中、2位となり、翌日の順位決定戦は、Aグループ2位通過のデンソー(昨年一部5位)と対戦することが決まりましたが、翌日、天候不良のため、試合が中止となり順位決定戦は残念ながら行われませんでした。

過去最高の結果となった熊野オープンでしたが、手応えと共に、課題もたくさん見つかったと思います。四月の開幕に向け、OP戦は続きます。準備と調整をしっかりと行っていきたいと思えます。三月十一日(土)・十二日(日)は、掛川市の小笠山運動校(エコパ)に於いて、静岡OPが開催されます。ご声援、よろしく願います。

三月の主な予定

*三月三日(金)〃

三月六日(月)

熊野オープン

※終了

*三月十一日(土)

十二日(日)

静岡オープン

(掛川市)

練習試合

*三月十八日(土)

十九日(日)

(三保貝島G)

福井選抜・東海大学

*三月二十五日(土)

(常葉学園G)

常葉学園大学